

コーディネーター

- ・幹事を2年の任期とすることで、新しい人を育てていく仕組みや常に業務について分かっている人がいる仕組みになっている。
- ・負担を減らすための仕組みづくり（役員を兼任しないルールを決めることや行事を町全体で行い役員を分散すること）をしてみてもどうか。
- ・コミュニティ活動でイベントを行うことで顔を合わせるこの機会が増え、災害などが起きた時に、お互いに助け合う相互扶助の意識醸成が図られる。
- ・役員や協力してくれる人を集める一つの方法として「このようなイベントをやるのでやりたい方はいませんか」と投げってみるというやり方もある。
- ・人材育成の観点でみると、コミュニティの中でパソコンの操作など自分の得意分野の講座をやってみるというような仕掛けが必要になってくる。

参加者

- ・コミュニティ活動では地域のつながりを感じることができる。
- ・どのコミュニティでも後継者不足が課題となっている。
- ・コミュニティ単位で活動することも大切だが、町全体でコミュニティを育てていくことや支えていく仕組み作りも必要だと思う。
- ・西小学校区地区では、夏祭りのような大きなイベントでは会長が音頭を取り、4部会全員で協力して進めている。また、数年前から幹事は2年の任期とすることで経験者の力を活かすことができ、引継ぎが上手くいった。
- ・お互いの地区が協力することで、全体のつながりが強まると思う。
- ・後継者不足があるため今までのやり方では限界がある。そのため大きなイベントを町、コミュニティ、商工会などで協力して行うことができるといい。
- ・得意分野やこれならやれそうということを、コミュニティの活動に活かしたい。これが部会員などの人選に繋がっていくと思う。
- ・コミュニティ活動の理想の形は、やりたい人たちがやりたい行事を行うことだと思う。
- ・コロナ禍でイベントがなくなり、前任からの引継ぎもないまま役員になっているため何をすればいいかわかっていない。

など